



MIRAIKKO

みらいっこインタビュー

京都市南保健所 所長 浅野 明美 さん



## プロフィール

京都市立病院小児科の研修医として4年間勤務後、病院兼職のまま保健所事業に携わり、乳幼児健診等の母子保健活動に活躍。また、平成5年度には「西京地域児童問題懇談会」、平成11年度には「南区子ども問題連絡会」を設立するなど、子どもの虐待防止活動にも取り組んでいる。平成11年12月には母子保健奨励賞を受賞し皇居に参内。

平成9年4月より現職。京都府小児保健研究会理事 京都こどもの虐待防止研究会幹事。

## “子育ては大変”ということを知り分かってあげて、時にはお母さんを誉めてあげましょう。

**保健所は子どもが生まれる前から、いろいろな子育て支援をされているんですね**

保健所では、妊娠がわかった時から、母子手帳の交付や両親教室（母親教室）などを通じて、お母さんが安心して出産に臨めるように援助しています。赤ちゃんが生まれてからは、新生児訪問、4カ月、8カ月の乳児健診、1歳6カ月、3歳3カ月の幼児健診などにより、赤ちゃんの病気の有無や発達チェックだけではなく、お母さんやお父さんに赤ちゃんへのかわり方などもアドバイスしています。私自身、健診をしていて、しっかり子育てをされているお母さん達をねぎらうのも一つの楽しみです。

今は子育てに関する情報が氾濫していますが、一人ひとり抱えている問題は違いますから、やはり、個別に専門家からアドバイスを受けることも必要です。保健所では保健婦や栄養士、医師、心理判定員、歯科衛生士などの専門家が、子育ての日常的なちょっとした疑問や不安にも気軽に答ええるなど、身体と心に関するきめ細かな子育て支援を行っています。

**浅野所長は、長い間小児科医として、また保健所の所長として子どもやお母さんにかかわってこられていますが、最近の子育て事情について、どのように感じられていますか**

一番気になっているのは生活リズムのことです。現代社会が夜型になっていきますので、子どもを取り巻く環境も夜型になりがちです。子どもの成長に必要なホルモンは、子どもが本来眠たくなる夜の8時、9時ごろから睡眠を取ったときに順調に分泌されていきます。ですから、子育て中は親の生活リズムに子どもを合わせるのではなく、できるだけ子どもに合わせた生活リズムづくりに親が努力することが大切です。

それから、乳幼児の事故防止も大切なことです。1歳以上の子どもの死因の第1位は不慮の事故です。日頃の少しの注意で防げる事故がたくさん

あります。保健所でも、家庭内の事故防止の方法などや応急処置の仕方などについて講習会を行ったり、事故防止グッズの展示等を行っていますので、ぜひ参考にしていただきたいと思います。

**保健所やこどもみらい館のように子育てを支援する場所が増えてきていますね**

核家族化や少子化が進む中で、身近に子育てを見る機会も少なくなり、子育てに不安を感じている若いお母さんたちが多くなってきています。こうした不安をもったお母さんたちをサポートできる場所が増えるのはとてもよいことです。こどもみらい館は連日多くの子どもさんとお母さんでにぎわっていますし、保健所で設けている交流の場にもたくさんのお母さん方に参加してもらっています。こういった場所がどんどん増えるといいですね。

**最後に若いお父さん、お母さんにメッセージをお願いします**

子育ては、大変さが7割で、子どもが成長していく姿を見て、笑顔でほっこりしたりする楽しみが3割だと思えます。そして、お母さんにとってもこれほど大変なことなのに、ちゃんとできてあたりまえだと思われているのが子育てです。まず、お父さんを含めた周りの人が「子育ては大変」ということを理解したうえで、成長の一つひとつをお互いに声に出して、共に喜び、楽しみながら、毎日過ごせるようにしていくことがとても大切なことだと思います。

そして、子育てにしんどさやストレスを感じた時などは、一人で抱え込まずに、気軽に保健所やこどもみらい館などを利用していただきたいと思います。きつくと、子育てに前向きになれるお手伝いができると思います。



# 「保育のこころ」 幼児の成長の危機をみつめる「から

お茶の水女子大学名誉教授

津守 真氏



国公立の保育所・幼稚園の先生方の共同研究会として、「第二回基調講演会」が、去る10月23日、お茶の水女子大学名誉教授の津守真氏を講師に迎え、こどもみらい館で行われました。津守氏は、養護学校で十数年にわたり取り組んでこられた中から、実践例を具体的に挙げながら「子どもの世界の理解とそこにかかわる保育者の役割の意味」について講演されました。そのなかで、「保育の仕事は、まず一人ひとりの子どもが自分らしく生きる時間と空間を提供し、同時に保育者である大人が自分らしく生きる時間と空間を一緒につくりながら自分も成長する仕事です。これは、子どもと一緒に体を動かしたり、呼吸を合わせることであり、子ども動きに敏感になって、一緒に動くことによ

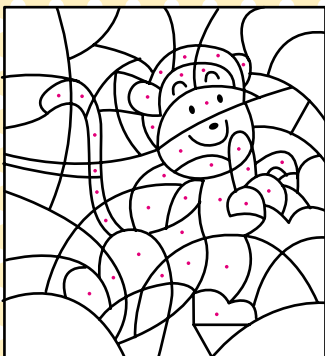
り、『体の動きの中に潜んでいる心の動きは何か』ということが分かってきます。そして、子どもの行動を肯定的にみて一生懸命つき合うことで、子どもが訴えていること、語っていることが分かるのです。本気になってその子と向き合つことが大切で、時間の長さは、大きな問題ではありません。保育者と子どもとの間に起こってくることをつなぎ合わせ、積み重ねていくことが保育であり、『この子は何を始めるんだらう?』と、思つて子どもたちの中に入ると楽しく、私にとつて子どもがいるところは、新しいことを考えさせてくれる宝の山です」と熱く語られました。

また、「子どもの成長には危機のときがあります。存在の危機 能動性の危機 相互性の危機 自我の危機、などです。これらの危機にあるとき、子どもは一見理解に困難な行動をしますが、どんなに悪くみえることをしても、必ずこころの底では自分が自分らしく生きたいと願っていることを保育者が信用しつづけ、その子の悩みの背景を考えて、丁寧に理解しながらかわるることにより、子どもはその危機を乗り越えることができます。大人になつてどんな境遇にならうと、本気でつき合つてもらつたことは子どもは一生忘れません」と結ばれました。

子どもといっしょに

## みらいっこクイズ

かくれんぼしている、どうぶつをあててね!  
のところをぬるとみつかるよ



正解者の中から抽選で10名様に図書券1,000円分を進呈します。「こどもみらい館」や「みらいっこ」に対するご意見・感想をお書き添えの上、ご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

応募方法

ハガキにクイズの答え(2匹の動物の名前)・氏名・住所・電話番号を明記の上、12月31日(当日消印有効)までに  
〒604-0883 京都市中京区間之町通竹屋町下る  
京都市子育て支援総合センター  
こどもみらい館「みらいっこクイズ」係 宛

多数のご応募ありがとうございました!!

前回(みらいっこ8号)のクイズの答えは「パンダ」「ソウ」「キリン」「シマウマ」「ペンギン」「ウサギ」でした。

## ワンポイントアドバイス 構音障害の訓練は就学期が最適

子どもの構音障害についてお話ししましょう。子どもは普通、就学前の6歳くらいになるとほとんど正しく言葉を発することができるようになります。

構音障害とは、5、6歳になっても正しく発音できないもので、例えば「かめ」を「タメ」「ハメ」、「さる」を「タル」「チャル」、「らくだ」を「ダクダ」などと発音してしまうことをいい、か行、さ行、ら行の障害が多いのですが、複数行に障害がある場合も少なくありません。

構音障害には、言葉を発する器官や聴覚の器官そのものに異常がある『器質的構音障害』や『聴覚性構音障害』がありますが、それ以外にも、これらに全く異常がないのに正しく発音できない『機能的構音障害』があります。

この機能的構音障害の多くは、言葉を発するときの舌や口の動かし方が未熟なだけで、障害の程度にもよりますが、3～6カ月くらい通院して訓練するとほとんど治ります。しかも成長発達の過程から、就学期が訓練に最も適した時期であると考えられます。

来春ご入学のお子様がこのような構音障害で気がかかっておられる方は、こどもみらい館(TEL075-254-8993)へご相談ください。(京都府耳鼻咽喉科専門医会会長 竹之内 智)



# 子育ての井戸端会議から

こどもみらい館で毎週開催

『タッタッタッタッタ』と、気持ちのよい音を立てながら、部屋へ入ってくるなり、ものすごい速さでハイハイをするたーくん、あっという間に部屋から廊下へ。大急ぎで追いかけるお母さん。

「もう目が離せなくて大変です」

「これだけハイハイをしたら、内臓が丈夫になつて成人病になりませんよ」

そこへゆうちゃんがやってきた。たーくんとゆうちゃんは一歳前後の赤ちゃん。たーくんが壁をポンポンとたたくと、ゆうちゃんも同じようにぼんぼんとたたく。たーくんが窓に上がろうとして足を上げると、ゆうちゃんも足を上げるがちよっと短い。

二人とも小さい足ですつと背伸びをしているのがとてもほほえましい光景です。たーく

んがひっくり返って

『アーン』と泣くと、ゆう

ちゃんがそばへ行って肩

に手を置いて、『うー』とい

う。「慰めているつもりなんですよね」と

大人がみんな感動

「用事をしているとなかなかそばに行けな

くて…。こうして見ていると面白いですね」

「家ではゆっくりと眺めている間がないですけど、こうして見ることで大事ですね」

『子育てはモデリング』ですから、何でも真似て学習するのですね」

時にはゆっくりと子どもを見ている時間をつくりましょう。子どもが何に興味をもっていきるかよく分かり、またその動作がとても面白くて、心がなごみます。



## もう聞かれましたか? こども元気ランドに ストリートオルガンが 流れます!

スイス製のストリートオルガンが元京都市立幼稚園長会長 鈴木マズ子様(故人)のご遺族から『こどもみらい館』に寄贈されました。

このストリートオルガンは、1階のこども元気ランドで、毎日午前10時50分と午後2時20分に演奏しています。



## こどもみらい館の相談カード 『子育てほっとダイヤルカード』が できました。

こどもみらい館などで配布しています。



## 子どもといっしょに つくろう! クッキング

### クリスマスケーキ

材料

小麦粉	80g	水	65g
ココア(無糖)	17g	卵白(大)	2個
B・P(ベーキングパウダー)	3g	粉砂糖	適量
砂糖	90g		
卵黄	1個	用意するもの	
サラダオイル	40g		リング型(18cm)

作り方

小麦粉ココアB・Pをビニール袋に入れよく混ぜこれに砂糖を入れ、もう一度混ぜふるいにかける。

卵黄 サラダオイル 水をよく混ぜ、に加える。

卵白を泡立てその中に を加え 軽く混ぜリング型に流し込む。(型には油は塗らないこと)

オーブンで150 40分焼いたあと、温度を130 まで下げ、10分焼く。

さかさまにして冷まし 冷めたらナイフ等で型から取り外す。

仕上げに粉砂糖を茶こしてふるいながらかけてできあがり!(お好みでホイップクリームで飾ってもよい)

## 読んで見て! BOOK

このコーナーでは、子育て図書館から 子育てに役立ついろいろな本をご紹介します。

### 「サンタおじさんの いねむり」( 偕成社 )

ルイズ ファチオ / 作  
まえた みえこ / 文  
かきもと こうぞう / 絵

クリスマス イブのこと 奥さんから大好きなサンドイッチとコーヒーのお弁当を渡されたサンタおじさんはクリスマスプレゼントを配りに町に出かけます。でも「まちにつくまでたべてはだめですよ。あなたは おなかがいっぱいになると ねむくなってしまふんですからね」といわれたのに うっかり食べてしまったサンタおじさん。おなかがいっぱいになって うとうと居眠りしてしまいます。そんなサンタおじさんの代わりに森の動物たちが大活躍。子どもたちは「サンタおじさん ねむってしまうんじゃないかしら」とおそらくどきどきしながらサンタおじさんの行動を追うでしょう。そして、森の動物たちのほのぼのとした優しい思いやりにつれ ほっとした心の底に、サンタおじさんへの親しみを残します。この物語の舞台となる雪の情景も想像できるよう 読んであげましょう。



開館 1 周年記念イベント

# みらいっこまつり

日時 12月22日(金)~  
24日(日)  
《9時~17時》

~ 21世紀に届け!子どもたちの笑顔~

場所 **こどもみらい館**

「こども元気ランド」でも遊べるよ

親子であそぼう!!

楽しいイベントがいっぱい!

好きな時間に毎日来てね!

12月22日(金)

## カプラであそぼう

10時~12時 13時~15時

主催:社団法人京都市私立幼稚園協会



## こども映画会

11時 13時 15時

## おもちゃの病院

お子さんと一緒にこわれた  
おもちゃを治す病院  
10時~16時

おもちゃは1人1点。コンピュータゲーム等は除きます。壊れている状況によっては治らない場合があります。治すのに時間がかかるため、受付できない場合があります。



## パネルシアター・エプロンシアター

10時~10時30分

14時~14時30分

- ・折り紙教室 14時~16時
- ・缶バッジコーナー 10時~16時  
お子さんの写真などを持ってきてね
- ・こども絵画展
- ・チャイルドシートコーナー
- ・乳幼児の事故防止コーナー

12月23日(祝)

## オルゴールの演奏会

サンタさんのくれた  
やさしい音色と一緒に

11時~12時

14時30分~15時30分

演奏:キコーオルゴール

## 人形劇と腹話術 「とらんくしあー」

11時30分~12時10分

14時15分~14時55分

主催:社団法人京都市私立幼稚園協会

## おんがくでクリスマス

13時~14時

## みらいっこおたんじょうパーティー

10時~11時

出演:かみふうせん

## ゆかいな人形劇

13時30分~14時10分

15時~15時40分

出演:人形劇サークルさんりんしゃ

- ・ミレニアムカレンダーを作ろう 10時~16時
- ・缶バッジコーナー 10時~16時  
お子さんの写真などを持ってきてね
- ・こども絵画展
- ・チャイルドシートコーナー
- ・乳幼児の事故防止コーナー

12月24日(日)

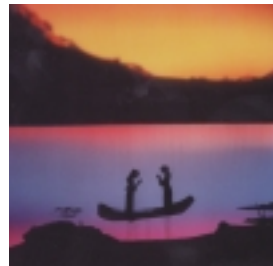
## 影絵劇

11時~11時30分

13時~13時30分

15時~15時30分

出演:京都文教女子高等学校

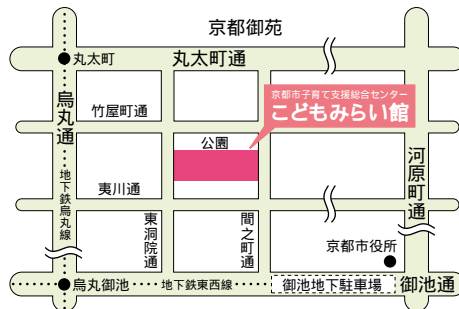


## クリスマスおたのしみ会

14時~15時

出演:ポップコーン

- ・ミレニアムカレンダーを作ろう 10時~16時
- ・缶バッジコーナー 10時~16時  
お子さんの写真などを持ってきてね
- ・こども絵画展
- ・チャイルドシートコーナー
- ・乳幼児の事故防止コーナー



社団法人 京都市保育園連盟主催の楽しい催しもあるよ みんな集まれ!



京都市子育て支援総合センター 〒604-0883 京都市中京区間之町通竹屋町下る  
**こどもみらい館** TEL 075-254-5001 FAX 075-212-9909  
URL <http://www.kodomomirai.or.jp>

交通/地下鉄丸太町駅から徒歩3分 市バス烏丸丸太町下車徒歩3分  
駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

ひと・まち・ロマン **元気都市・京都**

人権の 話題作りは 家庭から

この冊子は再生紙を使用しています